

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 令和2年度 | | |
| 氏名 | かどわき 門脇 ごう 豪 |  |
| 生年月日 | 昭和45年生 | |
| 住所 | 島根県松江市 | |
| 品目 | 雲州人参（薬用人参）（うんしゅうにんじん（やくようにんじん）） ・ 薬用人参（オタネニンジン）は、島根県、長野県、福島県が三大産で、松江市八束町の大根島で200年前から栽培され、雲州人参と呼ばれる ・ 江戸時代に藩財政補填のために栽培が始まり、全国に広がるとされる ・ 県内では最盛期（昭和54年）の70ha、400戸から現在は19ha、8戸まで減少したが八束地域では牡丹に次ぐ生産額を占める | |
| 技術 | 伝統の継承と省力化による薬用人参の一貫栽培・加工販売体系の構築 ・ 江戸時代からの伝統的な方法として屋根は麦わらを、支柱や腕木は耐久性のある栗材を用いて組み立てた小屋の中で栽培（観光資源の創出） ・ 牡丹苗の洗浄機を雲州人参に導入するなど、機械化により作業時間を短縮 ・ 他の生産者の収穫物も含めて由志園アグリ加工施設で加工・選別・販売 | |
| 活動状況 | ・ 平成21年7月に（株）由志園アグリファームを設立して規模を拡大し、令和2年は雲州人参180a、牡丹450aまで拡大（他に、そば1.2ha、馬鈴薯1ha、かぼちゃ0.3ha、小麦3ha） ・ 産品を日本庭園由志園に出荷し、伝統料理を地元住民や観光客に提供するなど、地域の食文化の継承にも注力（平成30年には「人参茶カフェ」も設置） ・ 雲州人参に係る「視察」や講師等を年間約10回程度実施 ・ 視察の対象は他県の行政機関や県内農林大学校生及び指導農業士等 | |
| 相談に 応じられる 分野・内容 | ・ 雲州人参の生産振興について ・ 栽培技術、加工技術の指導について | |
| 受賞歴等 | ・ 平成24年 宝寿牡丹品評会 受賞（松江市内） | |
| 主な役職 | ・ 平成21年～ （株）由志園アグリファーム 代表取締役 | |
| H P | 日本庭園 由志園 https://www.yuushien.com/ | |



ほ場



雲州人参



←由志園アグリファーム